

ま ち の ね

NEWS

わがまち神戸の活動を
伝える3誌がひとつに!

「協働と参画のプラットフォーム通信」
神戸のまちづくり情報誌「わがまちとーく」
地域情報誌「ふれあい」

ま
ち
の
音
が
聞
こ
え
て
く
る
。

こうべのまちの音が聞こえてくる。

まちの元気を育てる人、まちの課題を解決する人、まちの笑顔をつくる人。神戸をより魅力あるまちにするため、日々さまざまなことに取り組んでいる人たちがいます。

そんな地域を支える人たちの声や足音、まちづくりの音をお届けする活動レポートとして、「こうべソーシャルマガジン まちのね」は生まれました。

これまで神戸市が発行してきた「協働と参画のプラットフォーム通信」「わがまちトーク」「ふれあい」の3誌の役割を引き継ぎ、年3回の発行を予定しています。

これから「まちのね」では、読んだ人がだれかに伝えたいくなる、まちの営みを伝えていきます。新しいまちの音が生まれますように。

もくじ

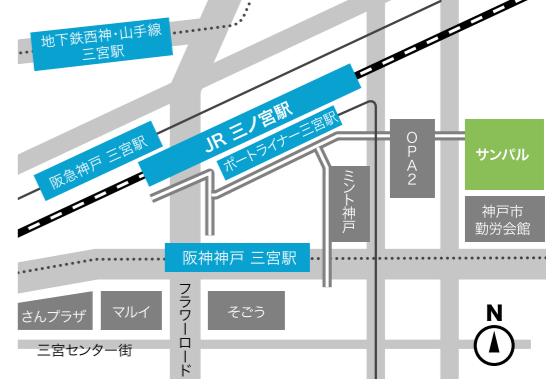
- 01 神戸ソーシャルキャンパス
- 02 協働と参画の取り組み「まちづくり協議会」
- 03 活動人めぐり!
- 04 「地域コミュニティ基礎講座」のご案内



01

学生が神戸で学び、動き、楽しむための基地 神戸ソーシャルキャンパス 活動レポート

学生との連携を
考えている方は
ご連絡ください!



神戸市中央区雲井通5丁目3-1
サンバル2階
各線 三宮駅より東へ 徒歩約3分
開館時間 / 14:00~20:30
定休日 / 月曜日・祝日・年末年始
www.kobesocialcampus.net

神戸ソーシャルキャンパス

検索



☎ 078-241-9797

✉ info@kobesocialcampus.net

神戸ソーシャルキャンパスってなに?

全国的に注目される事業を行うNPO、会社を経営しながら休日に仲間たちと創造的なイベントを仕掛けるひと、まちの面白いプロジェクトに欠かせないクリエイター。こうしたいろんなタイプの大人や魅力的な活動が、いま、神戸にはあふれています。神戸ソーシャルキャンパスは、学生とそんな大人たちや活動をつなぎ、学生と神戸、それぞれの将来をつくっていく基地です。



2017年3月のオープン当初の様子

神戸ソーシャルキャンパスでこんなことやってます! /

① 学生への情報発信

神戸ソーシャルキャンパス施設内にチラシを配架したりポスターを掲示したりすることに加え、SNSやWEBサイト、メールマガジンを使って学生にイベント情報を届けることができます。

2017年度 イベント情報発信事例

- ・「食と国際協力」シリーズ (NPO法人CODE海外災害救助市民センター)
- ・Mitsuke time (神戸生活創造センター)
- ・フォトジェニック防災!? KOBE Workshop (NPO法人インターナショナル)
- ・まなびと報告会 (特例認定NPO法人まなびと)



② 学生に対するボランティア・インターンシップ募集のお手伝い

ボランティアやインターンシップの募集情報を発信しています。実際に学生を受け入れる前には、神戸ソーシャルキャンパスにて顔合わせや面談を行うことで、学生と活動のミスマッチを防いでいます。

2017年度 マッチング事例

- ・YouTubeで難病支援! 医療講演や患者さんの声を世界に発信しよう! (講演会運営ボランティア/NPO法人U60チャレンジドサポーター)
- ・ロボットプログラミング「メイカーズフェスタ2017」運営ボランティア (イベント運営ボランティア/株式会社S&Fパートナーズ)
- ・子どもたちの成長をたのしくサポート! (放課後等デイサービスサポートボランティア/NPO法人COM総合福祉研究所)



③ 会社びらき

県下の企業と協力し、学生がいつでも気になる会社に会いにいける「会社びらき」が始動しました。就職活動の時期にかぎらず、学生がじっくりと仕事について考える機会をつくっています。

会社びらきの申込みや企業掲載のお問い合わせ

WEBサイトに、利用案内や会社一覧、企業向けの情報を掲載しています。

会社びらき 神戸

検索



<https://www.open-kobe.com/>



④ 学生チームの結成

NPOや地域団体の活動に共感する学生を複数募集し、学生サポートチームを結成します。学生を集めるだけでなく、定期的にコーディネーターが学生をフォローアップし、NPOや地域団体と学生の双方にとって有意義な取り組みになるように支援しています。

事例紹介



NPO法人Peace & Nature 学生チーム (NPO法人Peace & Nature)

「地球の平和と環境」をテーマに掲げ、日本人と外国人がともに活動するNPO法人Peace & Nature。学生サポートチームは、3月に「古民家再生DIYワークショップ」を企画・実施しました。古民家をリノベーションし、地域のコミュニティ拠点にする取り組みの一環です。当日の参加者は約40名にのぼり、大盛況でした。

2018年度は、高校生のボランティア受け入れプログラムの作成や、古民家再生にかかるDIY費用をまかなうためのファンドレイジング※活動などに取り組んでいく予定です。

用意されたプログラムに受動的に参加するのではなく、学生たち自身が主体的にプログラムをつくっていく側としてNPOに関わることで、積極的に学び成長していく場になっています。

※民間非営利団体(NPO法人等)が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称をいう。

VOICE

Peace & Natureの活動は、玉ねぎの苗植え、休耕田の整備、空き家の使い方など、ゼロの状態から自分たちで工夫を重ねて作り出していくものばかりで、いつもワクワクさせられました。

学生チーム 福西浩志くん

学生には、自然のなかで五感を生かして体験し、チャレンジすることを学んでいただきたい。そして、四方よし(自分よし・相手よし・世の中よし・将来よし=サステナビリティ)を生み出す社会を、ともにつくっていききたいです。

NPO法人Peace & Nature 代表 バハラム・イナナルさん



事例紹介



あじさい通りフェスタ実行委員会 (三宮東あじさい通り商店街振興組合)

三宮東あじさい通り商店街振興組合が主催している「あじさい通りフェスタ」。振興組合の皆さんは、多忙な普段の店舗運営に加えて、フェスタの企画や運営をしなければなりません。そこで、学生チームが振興組合と力をあわせ、あじさい通りフェスタを企画しました。

この協働により、若者が企画し、若者が参加するお祭りになりました。当日は学生サークルによる踊りや演奏もあり、大盛況のイベントになりました。

事例紹介



ぬく森プロジェクト (六甲砂防事務所)

六甲砂防事務所による「森の世話人」活動。「市民・企業による森づくり」をうたっていますが、若者世代の参加はまだ少ないのが現状です。

そこで、神戸ソーシャルキャンパスでは、「若者が参加しやすい森づくり活動」をコンセプトに「ぬく森プロジェクト」を立ち上げました。

登録した六甲山の活動エリアにて、2017年11月には伐採活動、2018年3月にはおもちゃづくりワークショップを開催し、実際に自然と触れ合いながら、森を整備することの重要性や楽しさを体験できる機会をつくりました。

事例紹介



フードロス勉強会 (認定NPO法人フードバンク関西)

認定NPO法人フードバンク関西は、まだおいしく食べられるのに廃棄されてしまう食品を、支援が必要な人たちに届ける活動をしています。これまで学生はボランティアとして食糧の仕分けや配達などに熱心に関わってきました。

ボランティア活動の一方、食糧廃棄問題について体系的に学ぶ場の必要性を感じ、神戸ソーシャルキャンパスで、「フードロス勉強会」を3回にわたって開きました。学生が自らリサーチ・発表し、一般公募した参加者(学生、NPO職員、主婦、会社員など)と意見交換を行いました。



「神戸ソーシャルブリッジ」との連携

2018年3月より『神戸ソーシャルブリッジ』の活動拠点が神戸ソーシャルキャンパスに隣接する形で開設しました。『神戸ソーシャルブリッジ』とは、課題を解決したい「NPOや地域団体等」と「社会貢献活動を希望する人材」をつなぎ、地域社会の課題解決に協働して取り組むプロジェクトです。

神戸ソーシャルブリッジ

検索

<https://socialbridge.city.kobe.lg.jp/>



「まちづくり協議会」 住みよいまちづくりを 推進するための 協働と参画の取り組み



東垂水地区まちづくり推進会 の取り組み例

東垂水地区まちづくり協議会では、バス停前の有効活用されていないスペース(市有地)を見直すため、話し合いを重ねました。

歩道が拡張され、きれいに整備されたことにより、地域住民の暮らしで大切なバス停周辺が改善されました。

VOICE



フェンスで囲まれた未利用地をわがまちウォークで取り上げたことをきっかけに、みんなで協力した結果、バス停前に潤いがうまれたよ!

東垂水地区まちづくり推進会会長
八木 善四郎さん

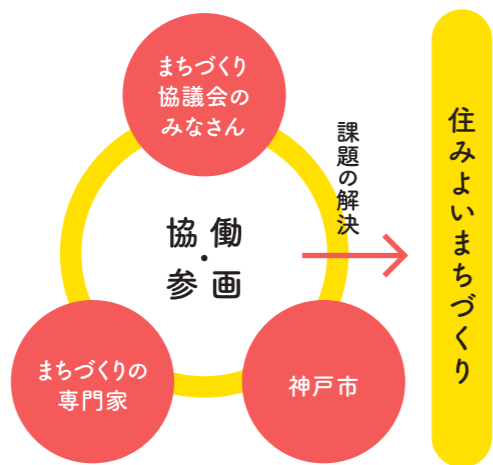
バス停前のベンチに座って話している人が増えて、居心地の良い場所になった!

上平尾自治会会長
小原 貴代子さん



「まちづくり協議会」ってなに?

「まちづくり協議会」は、地域の課題を解決し、住みよいまちづくりを推進するために、地域住民を中心に構成されています。協働と参画の考えのもと、「まちづくり協議会」「まちづくりの専門家」「神戸市」の3者で、まちの「ものづくり」「ルールづくり」「魅力づくり」に取り組んでいます。



- ものづくり**
空を整備して、防災器具を置いたり、菜園にしたり、「もの」を見直して、まちを改善します
- ルールづくり**
より住みやすいまちになるように、地域のみなさんで守っていくルールを考えます
- 魅力づくり**
クリーン作戦や防犯パトロールなど、まちの魅力に磨きかける取り組みを行います

元気なまちをつくる、 元気なひとと出会う 活動人めぐり!

よりよいわがまちのために奮闘する「活動人(かつどうびと)」にインタビューする「活動人めぐり!」。まちづくり協議会やNPOなどで活躍する活動人に会いに行き、いきいきとした神戸のまちを支える活動やその思いを伺います。



「喜楽館」7月オープン 新開地で落語を楽しむ

2018年7月11日、落語を日常的に楽しめる演芸場「神戸新開地・喜楽館」(以下「喜楽館」)が新開地にオープンしました。今回は、「喜楽館」の誘致や新開地のまちづくりにたずさわってこられた高 四代さんにお話を伺いました!

新開地の好きなところを教えてください。
たくさんあるけど、神戸のB面ともいわれている下町の飾らない良さかな。人がまちに住みついている感じがあって、住民同士が知り合いたから挨拶ができる。名前を知らなくても見かける顔が多くて安心できるまちだよ。

新開地では昭和60年にまちづくり構想を作成してから、長くまちづくりを続けていますね。
まちづくり協議会を立ち上げたきっかけは、店の後継者不足でまちが衰退してきたことだね。震災で被害をうけて、さらに空き店舗が増えたときはどん底だったよ。新開地音楽祭などの新開地ファンを増やす取り組みや、空き建物・空地を活用した魅力ある施設の立地促進は、商店街を活性化させたから始めたんだ。演芸場を誘致したのも同じ。「喜楽館」ができることで飲食店が賑わってほしいね。



新開地周辺地区まちづくり協議会会長
特定非営利活動法人新開地まちづくりNPO理事長
たか よんたい
高 四代 さん

「喜楽館」誘致のきっかけは何でしたか?
当時、上方落語協会会長だった桂 文枝さんの「第2の繁昌亭*を」という言葉を聞いて、新開地の住民が「良い場所があります」と文枝さんに手紙を送ったことが発端だったね。4年前に文枝さんが新開地を訪れたとき、「落語を行う場所にぴったりだと思った」と言っていたよ。

しかし、誘致までの道のりは、決して平坦ではなかったとお聞きしましたが……。
実は、2015年に、演芸場を開く資金が足りなくて、誘致できなくなりそうになったことがあるんだ。国・県・市にかけあって、補助金やふるさと納税のおかげで、なんとか資金を調達できたんだよ。

今後、さらに頑張っていきたいことはありますか?
やっぱり「喜楽館」の運営だね。黒字運営をして、利益を新開地のまちがよりよくなるように活用していきたい。まちは生きつづけているから、細く長いまちづくりを続けて、次世代に託していきたいね。

最後に「喜楽館」のPRをお願いします!
「喜楽館」でたくさん笑ってください。笑いは健康にもつながるからね。寄席のあとは、ぜひ新開地でおいしいものを食べて楽しんでください!

*繁昌亭:天満天神繁昌亭。大阪市北区天神橋二丁目にある寄席

04

自治会役員の 皆さまへのお知らせ

平成30年度 地域コミュニティ 基礎講座 (新任自治会役員研修)

を開催します

今年度より新たに就任された自治会役員の方を主な対象として、地域コミュニティ基礎講座を開催します。この講座では、自治会運営の参考になる講義や情報交換を行います。ぜひご参加ください。

主催：神戸市自治会連絡協議会、神戸市



参加費
無料

日時 平成30年 **8月31日** (金) 9:30～12:30

場所 ふたば学舎(神戸市立地域人材支援センター) 1階 1-5 多目的室 神戸市長田区二葉町7丁目1番18号

定員 40名(先着順)

申込方法 別紙申込書をFAXまたは郵送ください。

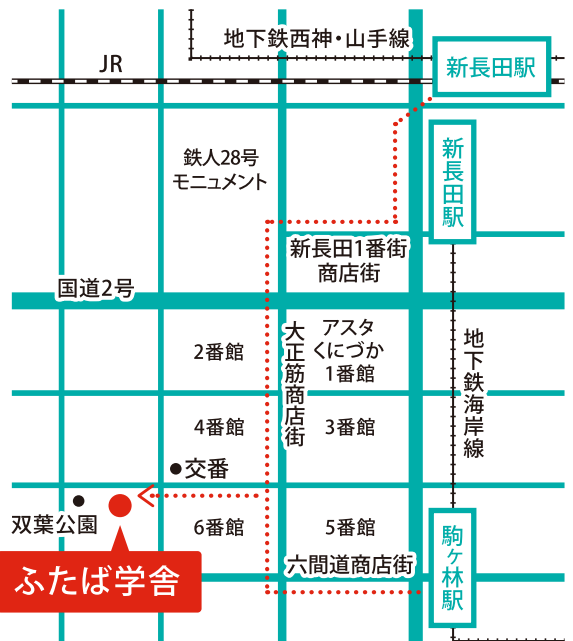
※詳しくは別紙申込書をご確認ください。 ※自治会、管理組合等団体に限り、別紙を添付しています。

締め切り 平成30年8月15日(水)

- プログラム
- 9:30～9:35 / 開講／神戸市自治会連絡協議会会長より挨拶
 - 9:35～10:35 / 講座「地域コミュニティの現状と自治会運営」野崎 隆一氏
 1. 地域が直面する今という時代
 2. 地域コミュニティは衰退しているか
 3. 地域を守るためには
 4. 自治会の将来像
 - 10:35～10:45 / 休憩
 - 10:45～12:15 / グループ意見交換
 - 12:15～12:30 / まとめ

講師プロフィール NPO法人神戸まちづくり研究所 **野崎 隆一** 氏

1943年兵庫県生まれ。建築家、まちづくりプランナー。株式会社遊空間工房代表取締役。阪神・淡路大震災後の復興まちづくりや住宅再建の支援に長年取り組む。近年は、宮城県や熊本県といった被災地の行政と住民をつなぐ活動も行う。2005年兵庫県復興功労賞受賞。2017年黄綬褒章受賞。



□市営地下鉄西神山手線/市営地下鉄海岸線/
JR神戸線「新長田駅」から南へ徒歩約13分

□市営地下鉄海岸線「駒ヶ林駅」出入口1から西へ徒歩約6分

お問い合わせ・発行：神戸市市民参画推進局市民協働課 TEL:078-322-6492(平日8:45～17:30)